

「全国学力・学習状況調査」平均正答率東京都との差				「江戸川区学力調査」平均正答率全国との差										
学年		第6学年		学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		
年度		国語		算数		国語		算数		国語		算数		
令和12年度の目標						令和12年度の目標								
令和11年度の目標						令和11年度の目標								
令和10年度の目標						令和10年度の目標								
令和9年度の目標						令和9年度の目標								
令和8年度の目標		-1.0	0	-1.0		令和8年度の目標	+1.0	-1.8	+2.8	-1.2	0	-1.5	+0.5	+1.5
令和7年度の結果		-1.0	-1.0	-2.0		令和7年度の結果	+0.8	-2.3	+0.6	-1.2	0	-1.8	+0.1	+2.1
令和6年度の結果		-2.0	-6.0	-8.0		令和6年度の結果	-4.5	-6.2	-3.6	-2.2	-0.1	+2.5	-2.5	-1.2
令和5年度の結果		-6.0	-8.0	-14.0		令和5年度の結果								

年度		令和7年度		令和8年度							
内容		成果と課題		目標		目標達成に向けた取組					
学校全体		【成果】 ○国語科の説明文の読み取りに関する授業研究に取り組んだ結果、発達段階に合った授業開発を行い実践したことで、各層の児童の学力を少しずつ伸ばすことができた。 【課題】 ○算数科の基礎的・基本的な学習内容の習得率が学校全体的に低いので、応用問題での活用も困難な児童が多い。基礎的・基本的な学習内容の習得率を高めるために、今以上に反復練習する時間を設ける必要がある。		○全学年が江戸川区スタンダードに基づいた授業を実践する。 ○国語科の授業等を通して、児童の語彙力や読解力をより高める。 ○児童の9割が、算数科の基礎的・基本的な学習内容を確実に習得できるようにする。		○区が主催する江戸川区スタンダード公開授業研修に随時参加し、校内で還元研修を行う。 ○全学年、毎週木曜日に朝学習の時間を設け、第3学年までは漢字や語彙力を増やす学習を、第4学年からはよむYOMU ワークシートを効果的に活用した学習をする。 ○全学年、月曜日や水曜日の朝の時間に算数科の学習時間を随時設け、既習事項を習得するための反復学習を行う。第4学年以上は、EDOスクも活用し、既習事項を習得するための反復学習を行う。					
第1学年		【成果】 ○文章の音読学習を繰り返し行い、基礎的な語彙を習得できた児童が多くなった。 ○ミライシードのドリルパークを家庭学習でも活用し、国語科や算数科の学力をある程度高めることができた。 【課題】 ○児童一人一人の学力に差があり、個に応じた指導をしながら、全体的な学力を高めていく必要がある。		○国語科と算数科において、江戸川区スタンダードに基づいた授業を実践し、児童が習得した内容を活用できるようにする。 ○1年生に必要な文字や語彙を確実に習得できるようにする。 ○算数科の基礎的・基本的な学習内容を確実に習得できるようにし、それを活用できるようにする。		○江戸川区スタンダードに関する資料を教職員が随時確認し、「主体的・対話的で深い学び」のある授業展開を工夫して考え、実践する。学年主任を中心に授業内容を確認し合い、授業の質を高めていく。 ○普段の国語科の授業中に加え、木曜日の朝学習や家庭学習の時間に文字や語彙に関する反復学習を行い、確実に習得できるようにする。また、毎日文章の音読に取り組むようにする。 ○算数科の授業中の小テストや、家庭での反復学習、月曜日と水曜日の朝の時間を使った計算練習等を年間通して行い、児童一人一人の力を少しずつ高められるようにする。特に、たし算とひき算の計算は繰り返し行う。					
第2学年		【成果】 ○学習用タブレットのオクリンク+を活用してお互いの考えを共有する中で、児童一人一人の考える力を少しずつ高めることができた。 ○文章の音読学習を繰り返し行い、基礎的な語彙を習得できた児童が多くなった。 【課題】 ○児童一人一人の学力に差があり、個に応じた指導をしながら、全体的な学力を高めていく必要がある。		○国語科と算数科において、江戸川区スタンダードに基づいた授業を実践し、児童が習得した内容を活用できるようにする。 ○2年生に必要な文字や語彙を確実に習得できるようにする。 ○算数科の基礎的・基本的な学習内容を確実に習得できるようにし、それを活用できるようにする。		○江戸川区スタンダードに関する資料を教職員が随時確認し、「主体的・対話的で深い学び」のある授業展開を工夫して考え、実践する。学年主任を中心に授業内容を確認し合い、授業の質を高めていく。 ○普段の国語科の授業中に加え、木曜日の朝学習や家庭学習の時間に漢字や語彙に関する反復学習を行い、確実に習得できるようにする。また、毎日文章の音読に取り組むようにする。日記にも随時取り組む。 ○算数科の授業中の小テストや、家庭での反復学習、月曜日と水曜日の朝の時間を使った計算練習等を年間通して行い、児童一人一人の力を少しずつ高められるようにする。特に、かけ算の計算は繰り返し行う。					
第3学年		【成果】 ○国語科の説明文の読み取りに関する授業研究に取り組んだ結果、児童の読解力や思考力・表現力等を高めることができた。 ○算数科の基礎的・基本的な学習内容の習得に力を入れた結果、特に「測定」領域に関する児童の能力を高めることができた。 【課題】 ○算数科の「数と計算」領域の基礎的・基本的な学習内容の習得に、より力を入れる必要がある。		○国語科と算数科において、江戸川区スタンダードに基づいた授業を実践する。 ○3年生に必要な文字や語彙を確実に習得できるようにする。 ○算数科の基礎的・基本的な学習内容を確実に習得できるようにし、それを活用できるようにする。		○江戸川区スタンダードに関する資料を教職員が随時確認し、「主体的・対話的で深い学び」のある授業展開を工夫して考え、実践する。学年主任を中心に授業内容を確認し合い、授業の質を高めていく。 ○普段の国語科の授業中に加え、木曜日の朝学習や家庭学習の時間に漢字や語彙に関する反復学習を行い、確実に習得できるようにする。 ○国語辞典を活用して、知りた言葉の意味をすずんで調べ、習得できるようにする。 ○算数科の授業中の小テストや、家庭での反復学習、月曜日と水曜日の朝の時間を使った計算練習等を年間通して行い、児童一人一人の力を少しずつ高められるようにする。特に、わり算の計算は繰り返し行う。					
第4学年		【成果】 ○国語科の説明文の読み取りに関する授業研究に取り組んだ結果、児童の知識・技能だけでなく、読解力や思考力・表現力等を高めることができた。 ○算数科の基礎的・基本的な学習内容の習得に力を入れた結果、特に「データの活用」領域に関する児童の能力を高めることができた。 【課題】 ○算数科の「数と計算」「測定」領域の基礎的・基本的な学習内容の習得に、より力を入れる必要がある。		○国語科と算数科において、江戸川区スタンダードに基づいた授業を実践し、児童が習得した内容を活用できるようにする。 ○4年生に必要な語彙や読解力を習得できるようにする。 ○算数科の基礎的・基本的な学習内容を確実に習得できるようにし、それを活用できるようにする。		○江戸川区スタンダードに関する資料を教職員が随時確認し、「主体的・対話的で深い学び」のある授業展開を工夫して考え、実践する。学年主任を中心に授業内容を確認し合い、授業の質を高めていく。 ○普段の国語科の授業中に加え、木曜日の朝学習や家庭学習の時間に漢字や語彙に関する反復学習を行い、確実に習得できるようにする。10月以降は、よむYOMU ワークシートを活用した学習を毎週行い、読解力を高めていく。 ○算数科の授業中の小テストや、家庭での反復学習、月曜日と水曜日の朝の時間を使った計算練習等を年間通して行い、児童一人一人の力を少しずつ高められるようにする。特に、四則計算は繰り返し行う。					
第5学年		【成果】 ○国語科の説明文の読み取りに関する授業研究に取り組んだ結果、読解力や思考力・表現力等を高めることができた。また、普段の学習から伝達力が高まった児童も増えた。 ○算数科の基礎的・基本的な学習内容の習得に力を入れた結果、児童の思考力が高まり、特に「データの活用」領域に関する児童の能力を高めることができた。 【課題】 ○算数科の「数と計算」「変化と関係」領域の基礎的・基本的な学習内容の習得に、より力を入れる必要がある。		○国語科と算数科において、江戸川区スタンダードに基づいた授業を実践し、児童が習得した内容を活用できるようにする。 ○5年生に必要な語彙や読解力を習得できるようにする。 ○算数科の基礎的・基本的な学習内容を確実に習得できるようにし、それを活用できるようにする。		○江戸川区スタンダードに関する資料を教職員が随時確認し、「主体的・対話的で深い学び」のある授業展開を工夫して考え、実践する。学年主任を中心に授業内容を確認し合い、授業の質を高めていく。 ○授業中や家庭学習で、既習漢字を確実に習得できるように反復練習を繰り返す。また、毎週木曜日の朝学習の時間等に、よむYOMU ワークシートを活用した学習を行い、読解力を高めていく。 ○算数科の授業中の小テストや、家庭での反復学習、月曜日と水曜日の朝の時間を使った計算練習等を年間通して行い、児童一人一人の力を少しずつ高められるようにする。特に、小数や分数の計算は繰り返し行う。					
第6学年		【成果】 ○国語科の普段のコミュニケーションにおける反復学習から、伝達力が高まった児童も増えた。 ○算数科の基礎的・基本的な学習内容の習得に力を入れた結果、特に「データの活用」領域に関する児童の能力を高めることができた。 【課題】 ○国語科の「書くこと」の児童の能力をさらに高めていく必要があった。		○国語科と算数科において、江戸川区スタンダードに基づいた授業を実践し、児童が習得した内容を活用できるようにする。 ○6年生に必要な語彙や読解力を習得できるようにする。 ○算数科の基礎的・基本的な学習内容を確実に習得できるようにし、それを活用できるようにする。		○江戸川区スタンダードに関する資料を教職員が随時確認し、「主体的・対話的で深い学び」のある授業展開を工夫して考え、実践する。学年主任を中心に授業内容を確認し合い、授業の質を高めていく。 ○授業中や家庭学習で、既習漢字を確実に習得できるように反復練習を繰り返す。また、毎週木曜日の朝学習の時間等に、よむYOMU ワークシートを活用した学習を行い、読解力を高めていく。 ○算数科の授業中の小テストや、家庭での反復学習、月曜日と水曜日の朝の時間を使った計算練習等を年間通して行い、児童一人一人の力を少しずつ高められるようにする。特に、分数の計算は繰り返し行う。					